

**オペラ界の重鎮・栗山昌良が  
佐渡裕と組む注目のタッグ！  
豪華キャスト陣とともに新演出に臨む！**



演出に迎えるのは、日本の美意識を究極まで追究し、わが国における「蝶々夫人」演出に大きな実績を築いている重鎮・栗山昌良。作品に忠実、かつ洞察に満ちたアプローチで芸術文化センターのための新演出に取り組み、新たに製作する舞台装置・衣裳、海外から招聘する国際的なキャスト陣とともに、芸術監督・佐渡裕と注目のタッグを組みます。どうぞ期待！

**初めての方にも安心『日本語字幕付き』上演**

「蝶々夫人」は日本の長崎が舞台となったオペラですが、上演はイタリア語。「外国の言葉では意味がわからないし…」と二の足を踏んでいる方も多いため。しかし、心配御無用!! 初めての方でも安心。オペラをとことん楽しめる『日本語字幕付き』上演でご堪能いただけます。イタリア語の美しい響きと、日本語字幕により物語の内容を存分に味わいながらご鑑賞ください。

**本格オペラハウスでオペラの世界に  
どっぷりはまってください**

昨年秋にオープンしたばかりの芸術文化センター。この日、大ホールはふんだんに木を使用したぬくもりある雰囲気をかもし出す素敵なオペラ・ハウスに变身。さあ、お友達と恋人とまたご家族と連れ立って、この劇場でしか味わうことのできない感動に出会いに行こう！



*Message from Yutaka Sado*  
**僕の思いがいっぱいつまった「蝶々夫人」**

プッチーニの「蝶々夫人」は、僕が人生で最初に取り組んだオペラ作品ということができます。

忘れもしない、まだ僕が二十歳の時。関西二期会の副指揮者になりたてだった僕は、その膨大な音の量にひどく戸惑い、そして同時にその面白さに夢中になりました。そうした中で、僕に非常に大きな影響を与えてくださったのが、栗山昌良先生でした。その頃の先生の稽古は、あまりの厳しさに歌手が涙を流すこともしばしばでした。しかし、先生から発せられる全ての厳しい言葉は、楽譜が先生にそうしゃべらせているように僕には聞こえ、一言一言が楽譜を読む上での大きな喜びに繋がっていったのです。どうして三連譜なのか、どうして大きな休みがあるのか、なぜ歌手はこのアリアを歌うのか——。僕はオペラの面白さを、全てこの栗山先生から学んだと、いいでしょう。

プザンソン国際指揮者コンクールに優勝した直後、本指揮者としても栗山先生の演出で指揮台に上がらせてもらうことができました。だから、この作品には、全ての小節にいろいろな思い出が残っていて、脇役のはずの音にまで、僕の思いが一杯に詰まっているのです。僕がオペラの深い世界を知るきっかけになった「蝶々夫人」。ぜひお楽しみください。

佐渡 裕



佐渡裕芸術監督 プロデュース **オペラ「蝶々夫人」** [全3幕/イタリア語上演・日本語字幕付/新制作] (上演時間:2時間45分(予定)休憩含む)

2006 7/15(土), 16(日), 17(月・祝), 19(水), 22(土), 23(日) 兵庫県立芸術文化センター大ホール  
各日2:00PM開演(1:15PM開場)【全6公演】 A¥12,000 B¥9,000 C¥7,000 D¥5,000 E¥3,000 (全席指定) (税込)

◎ご予約

電話予約 芸術文化センター チケットオフィス **0798-68-0255**  
(10:00AM~5:00PM/月曜休み※祝日の場合翌日)  
インターネット予約 24時間予約可能! ともにも便利!! **http://www.gcenter-hyogo.jp**  
3/24(金)会員先行電話予約・インターネット先行予約受付開始 3/26(日)電話受付開始  
4/2(日)インターネット受付開始(残席がある場合のみ)  
※窓口での引取り・販売は3/28(火)より☆先行予約会員(入会無料)は随時入会受付中!!

◎チケット取扱いプレイガイド  
チケットぴあ **0570-02-9966** (Pコード:221-990)  
ローソンチケット **0570-084-005** [Lコード:55871]  
イープラス **http://eee.eplus.co.jp** (Pコード:00000)  
JR西日本の主な駅のみどりの窓口  
※プレイガイドでのお取扱いについては各プレイガイドにお問合せください。  
【お問合せ】  
芸術文化センター チケットオフィス **0798-68-0255**  
(10:00AM~5:00PM/月曜休み※祝日の場合翌日)

【ご注意】●未就学児童のこ入場はご遠慮ください。●やむを得ない事情により、出演者等が変更になる場合がございます。最終の出演者は当日発表とさせていただきます。●開演時間に遅れますと、長時間入場をお待ちいただくこととなります。時間に余裕をもってお越しください。●場内での写真撮影、録音、録画、携帯電話等の使用は、固くお断りいたします。●本公演の字幕は舞台の両脇に設置されます。一部視にくい場合がございますが、あらかじめご了承ください。

**兵庫県立芸術文化センター**  
Hyogo Performing Arts Center  
<http://www.gcenter-hyogo.jp>

**便利なアクセス!!**  
大阪・梅田からも神戸・三宮からもホールまで15分  
(阪急電車特急乗車の場合)  
◎ 阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)  
◎ JR 西ノ宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)  
※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。



佐渡裕芸術監督プロデュース オペラ **蝶々夫人**

**蝶々夫人**

GIACOMO PUCCINI'S OPERA **MADAMA BUTTERFLY**

プッチーニ作曲 **オペラ「蝶々夫人」** [全3幕/イタリア語上演・日本語字幕付/新制作] 芸術監督・指揮:佐渡 裕 演出:栗山昌良  
(上演時間:2時間45分(予定)休憩含む)

2006 7.15(土)~7.23(日)【全6公演】 兵庫県立芸術文化センター大ホール

◎ご予約・お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス0798-68-0255 (10:00AM~5:00PM 月曜休み※祝日の場合翌日) 企画・制作:兵庫県立芸術文化センター 主催:兵庫県/兵庫県立芸術文化センター/関西テレビ放送

# 佐渡裕(芸術監督)渾身のプロデュースオペラ第2弾! 明治時代の港町・長崎を舞台に繰り広げられる美しくも哀しい愛の物語。これを観ずしてオペラを観たというなかれ! 豪華キャストと新演出でお贈りする夢のロングラン公演!!

## 蝶々夫人

GIACOMO PUCCINI'S OPERA  
MADAMA BUTTERFLY

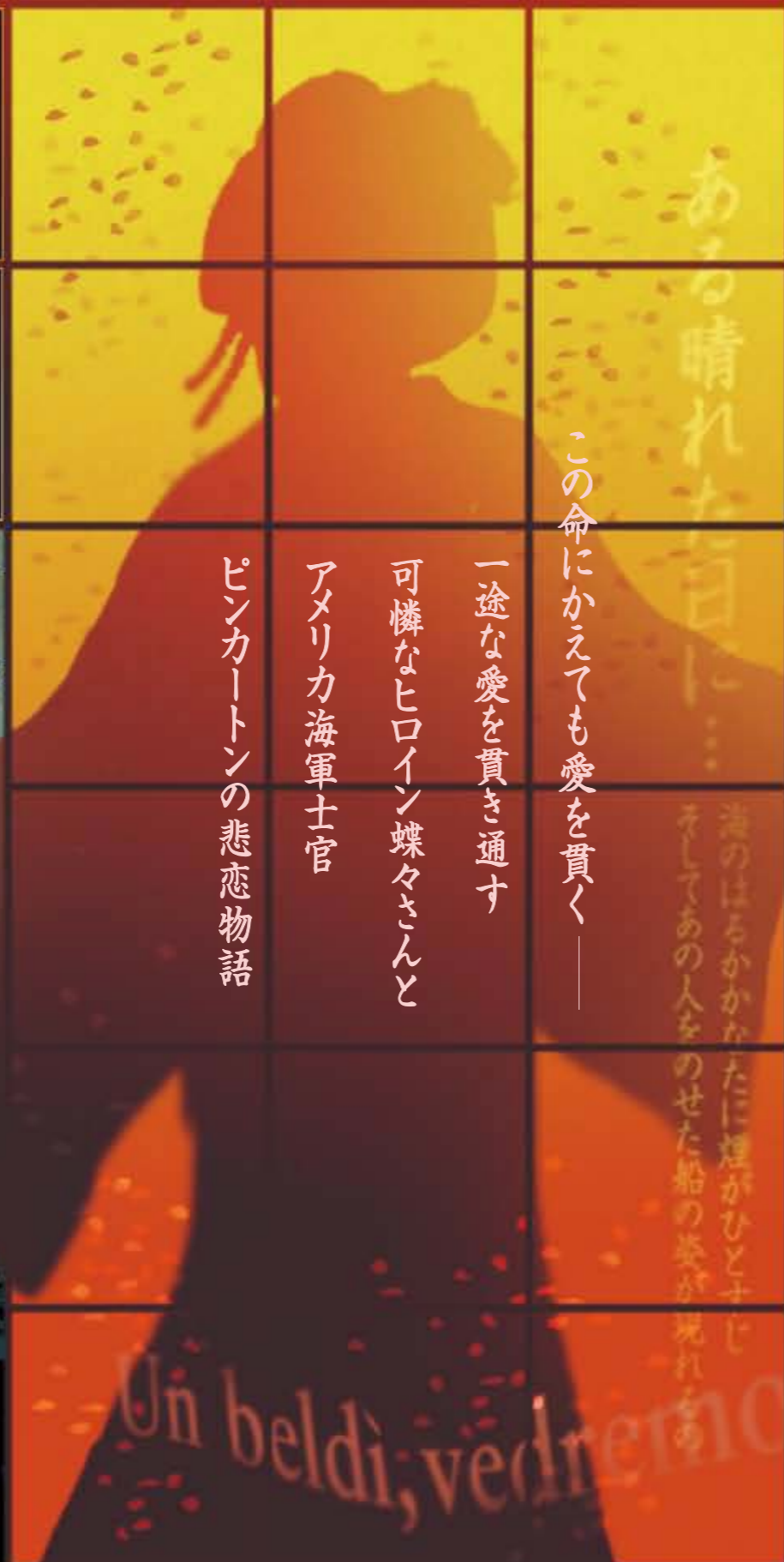
佐渡裕芸術監督 プロデュース  
オペラ「蝶々夫人」

[全3幕/イタリア語上演・日本語字幕付/新制作]  
(上演時間:2時間45分(予定)休憩含む)

2006  
7/15(土), 16(日), 17(月・祝)  
19(水), 22(土), 23(日)

各日2:00PM開演(1:15PM開場)【全6公演】  
兵庫県立芸術文化センター大ホール

音楽: ジャコモ・プッチーニ  
台本: ルイーゼ・イヅリカ、ジュゼッペ・ジャコーザ  
芸術監督・指揮: 佐渡裕 演出: 栗山昌良  
美術: 石黒紀夫 照明: 沢田祐二 衣裳: 緒方規矩子  
舞台監督: 金坂淳台 プロダクション・ディレクター: 小栗哲家  
プロダクション・マネージャー: 関谷潔司(兵庫県立芸術文化センター)



### 世界中で愛され続けるオペラ「蝶々夫人」

あまりにも有名なアリア「ある晴れた日に」をはじめ、「愛の二重唱」、「花の二重唱」など、心をとらえて離れない数々の名旋律と豊かな管弦楽によって、ドラマティックな世界を表現力豊かに描き出した傑作。過酷な運命の中、一人の女性としてひたすら信念を貫いて生きる蝶々さん。この気高さが世界中で愛され続ける所以なのでしょう。

また、舞台が日本であることから「さくらさくら」「お江戸日本橋」「君が代」などのなじみ深いメロディーも随所に現れます。今回、日本で制作する日本人によるこの公演は、海外で上演される「蝶々夫人」とは違う魅力を感じさせるとともに、オペラの醍醐味を存分に味わわせてくれるに違いありません。

### Story

【第1幕】舞台は明治初期の日本。もとは誉れ高い武家に生まれながら、困窮の中で芸者として身を立てていた長崎の少女・蝶々は、ゴローの斡旋でアメリカの若い海軍中尉ピンカートンと結婚の契りを結びます。領事シャープレスは、無責任な青年の決断をたしなめますが、親類縁者から反対される中、蝶々もピンカートンに一途の愛を誓います。

【第2幕・第3幕】しかし、青年はまもなく任期を終え、「駒鳥が鳴くころに戻ってくる」という言葉を残して日本を去ってしまいました。「お前は騙されたのだ」という中傷をよそに、頑なにピンカートンを信じ、さらに困窮する生活の中でいつになるとも知れないその帰りを待ち続けていた蝶々は、三年のち、ついにピンカートンの乗った艦が長崎に入港しているのを目にします。新床を迎えた夜と同じように、部屋中を花で一杯にして、ピンカートンの帰宅を待つ蝶々。しかし、夜になり、空が白んでも、戻ってくるはずのピンカートンは蝶々の前に姿を現しません。最後に明らかになった運命を前にしたとき、蝶々は自らの死を選ぶのです。

◎主な登場人物

<p><b>蝶々さん</b> 没落士族に生まれやむなく芸者となる。15歳でピンカートンと結婚しキリスト教に改宗。一途な愛を貫く。</p>	<p><b>ピンカートン</b> アメリカ海軍中尉。根っからのプレイボーイ。蝶々さんとの結婚も一時の享楽に過ぎなかった。</p>
<p><b>スズキ</b> 女中。蝶々さんを献身的に変える。</p>	<p><b>シャープレス</b> 駐長崎のアメリカ領事。良識を持ち、しばしば軽薄なピンカートンをたしなめる。</p>
<p><b>ボンゾ</b> 僧侶で伯父。キリスト教に改宗した蝶々さんを助言。</p>	<p><b>ヤマドリ</b> 蝶々夫人に結婚を迫る金持ち。</p>
<p><b>ゴロー</b> 悪徳結婚仲介者。</p>	<p><b>ケイト</b> ピンカートンの(本国の)正式な妻。</p>



### Cast ※()は出演日

蝶々さん

<p><b>浜田 理恵</b> (7/15,17,22)</p> <p>日本での活躍だけでなくフランス各地の歌劇場で主演、絶賛を博す。国際的プリマドンナ</p>	<p><b>大岩 千穂</b> (7/16,23)</p> <p>ミラノを拠点に活躍。圧倒的な存在感と表現力で世界を舞台に熱い注目を浴びる</p>	<p><b>並河 寿美</b> (7/19)</p> <p>昨年「ヘンゼルとグレーテル」(芸術文化センター)に出演。今後ますますの飛躍に注目が集まる地元期待の星</p>
--	---	--

<p><b>ピンカートン</b></p> <p><b>アレックス・ロドリゲス</b> (7/15,17,22)</p>	<p><b>シャープレス</b></p> <p><b>デヴィッド・オーカーランド</b> (7/15,17,22)</p>	<p><b>スズキ</b></p> <p><b>坂本 朱</b> (7/15,17,22)</p>	<p><b>ブロー</b></p> <p><b>晴 雅彦</b> (7/15,17,22)</p>
<p><b>ジョン・マッツ</b> (7/16,19,23)</p>	<p><b>キュウ・ウォン・ハン</b> (7/16,19,23)</p>	<p><b>小山 由美</b> (7/16,19,23)</p>	<p><b>松浦 健</b> (7/16,19,23)</p>
<p><b>ボンゾ</b></p> <p><b>松下 雅人</b> (7/15,17,22)</p>	<p><b>ヤマドリ</b></p> <p><b>菅野 宏昭</b> (7/16,19,23)</p>	<p><b>ケイト・ピンカートン</b></p> <p><b>キュウ・ウォン・ハン</b> (7/15,17,22)</p> <p><b>池田 直樹</b> (7/16,19,23)</p>	<p><b>神官</b></p> <p><b>花月 真</b> (全日)</p>
<p><b>柳澤 涼子</b> (7/15,17,22)</p>	<p><b>佐々木 武奈</b> (7/16,19,23)</p>		

合唱=ひょうごプロデュースオペラ合唱団 管弦楽=兵庫県立芸術文化センター管弦楽団